

3 班班山行・赤薙山

山行日 2022 年 7 月 2 日 (土)

参加者 L : Y 口、SL : W 邊(m)、Y 崎(s)、T 橋(j)、S 木(m)、G 志堅、会員外 1 名、M 本(記)

行 程 霧降高原 9 : 40-小丸山 10 : 25-赤薙山 11 : 43/12 : 02-小丸山 12 : 58/13 : 03-霧降高原 13 : 20



3 班 7 月の班山行はニッコウキスゲ目当ての日光霧降高原から赤薙山登山です。異例の猛暑となった 6 月から 7 月に入って最初の週末の山行当日も猛暑が続くとともに午後には山沿いで雨との予報で、暑さと雨の両方を気にしながらのスタートとなりました。

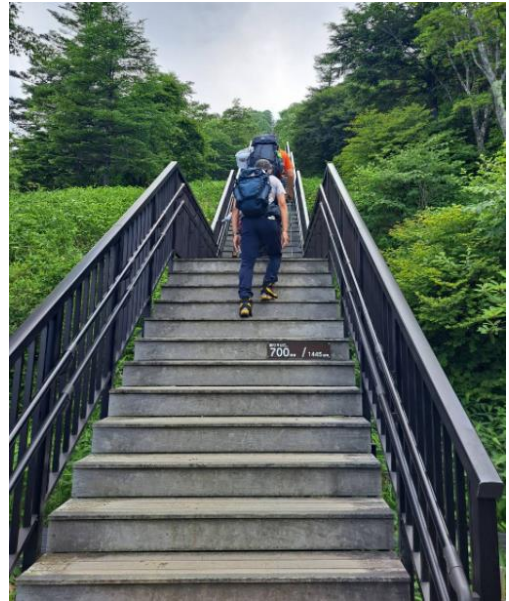
霧降高原行の東武バスは J R 日光駅始発ですが東武日光駅からは大勢の人が乗車し超

満員となりました。J R 駅まで歩いて始発に乗ったのは大正解です。さらにこの日はバス運賃の支払いに I C カードが使えなくなる状態になりましたがフリーパスを購入していた私たちに影響はありませんでした (K D D I の通信障害が原因だったようです)。また、霧降高原にはマイカーでも多くの方が訪れているようで駐車場も満車状態でした。

歩き出しはいきなり階段、それも 1445 段の天空回廊と呼ばれる名物階段です。ニッコウキスゲが咲き乱れる笹原を横目で見ながらひたすら登り続けますがさすがに息も上がってきます。それでも途中の展望台からのニッコウキスゲの大群落はまさに見頃で遠方の山並みを含めた眺望を堪能しました。

階段を登りきり鹿除け柵の回転扉を抜けると小丸山です。この先も笹原が広がっていますが鹿による食害のためかニッコウキスゲは全く見られません。赤薙山の山頂目指してしばらくは眺めののの良い尾根を歩きます。W サブリーダーを先頭に快調に登り続け、途中の小休止でも「あと 2 分」の声にせかされ、かなり早いペースで高度を上げていきました。山頂手前は樹林に入り、足場の良くない急坂を登り切ると計画より早く赤薙山の山頂に到着しました。

あまり広くない山頂に多くの登山者がいた



1445 段の天空回廊の中間あたり



展望台からの眺め

ので、20分ほどで昼食と写真撮影を済ませ下山することになりました。

下り始めてすぐの樹林帯の中で心配していた雨が降り始め、次第に強まる気配だったので一時レインウェアを着ましたがその時の雨はまもなく止みました。計画では小丸山手前の分岐から丸山に向かうことにしており時間的には十分余裕がありましたが、天気が不安定だったの丸山に登るか早めに下山するかを選択となりました。ここでサブリーダーが迷わず下山を選んだ（早くビールを飲みたかった）ため急いで下山した結果、予定より1便前のバスに間に合いました。すでに大勢がバスを待っていたので行き同様の混雑を覚悟しましたが臨時バスも来たのでゆっくり座れラッキーでした。日光市内に戻る道中で雨が降ってきたので早く下りたのはどうやら正しい判断でした。

東武日光駅から一度は特急で帰ろうとしましたが、特急料金が缶ビールが何本も買える値段であったため直ちに普通に変更、売店で買った缶ビールを飲みながら各駅停車でゆっくり帰りました。それでは足りない男たちは乗り換え駅の新越谷駅付近でさらに反省会を行ったそうです。

この日も平野部では厳しい暑さでしたが、標高2,000m近い稜線では吹く風はさわやかでした。見頃のニッコウキスゲを堪能し満足の日でした。



山頂で記念写真